

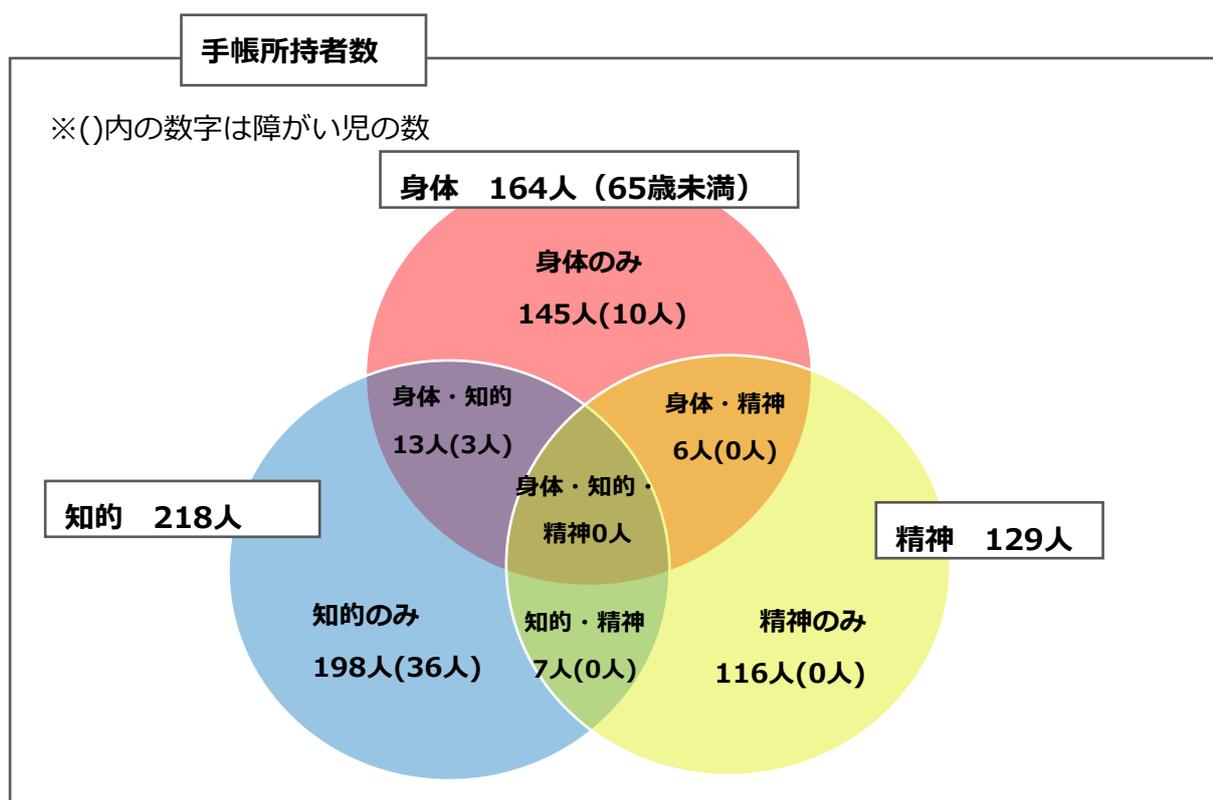
5 アンケート調査結果

1 調査の目的

今回のアンケート調査は、八雲町で各種障害者手帳を所持する方を対象に、障がいのある方の生活実態や障害福祉サービス等に対するニーズの把握を行うことにより、第7期八雲町障害福祉計画および第3期障害児福祉計画の策定のため基礎資料とすることを目的としました。

2 調査の対象

調査の対象は、令和4年8月24日現在での障害者手帳登載者（所持者）485人です。
うち26名は複数種類の手帳を所持しており、内訳は以下となります。



3 調査方法と期間

調査方法は調査票への記入方式です。

配布方法は郵送とし、回答は郵送またはインターネットとしました。

また、調査票の発送が令和4年8月31日で、提出期限を令和4年9月30日としました。

なお、施設入所者やグループホーム入所者が回答するにあたっては、支援が必要であると想定し、入所施設及びグループホーム管理者宛に協力依頼文を送付しております。

4 調査の項目

設問数が26問、調査票ページ数は10ページであり、内訳は次のとおりです。

- ・基本属性(10問)
- ・普段の様子やサービス等に関すること(10問)
- ・災害時の備えに関すること(2問)
- ・福祉全般に関すること(3問)
- ・自由意見(1問)

5 回収数、回収率

回収数および回収率は下表のとおりです。

◎全体及び年齢別の回収数、回収率

		対象者数	回収数	回収率
全体		485人	229人	47.2%
年 齢 層 別	0～17歳	42人	20人	47.6%
	18～29歳	56人	24人	42.9%
	30～39歳	54人	27人	50.0%
	40～49歳	86人	38人	44.2%
	50～59歳	109人	50人	45.9%
	60～64歳	71人	30人	42.3%
	65歳以上	67人	37人	55.2%
	無回答		3人	

◎障がい別回収率 ※重複障がい者を含む

	対象者数	回収数	回収率
知的障がい※1	218人	119人	54.6%
精神障がい※2	129人	50人	38.8%
身体障がい※3	164人	67人	40.9%
無回答		7人	

※1 療育手帳所持者

※2 精神障害者保健福祉手帳所持者

※3 身体障害者手帳所持者

6 集計結果について

【記載内容について】

- ・療育手帳を所持する方を以下「知的」、精神障害者保健福祉手帳を所持する方を以下「精神」、身体障害者手帳を所持する方を以下「身体」と表記しております。
- ・一部の文章で「障がい種類別」として記載しているパーセンテージは、各手帳の所持者数を分母としております。

【問24および問26の記述内容について】

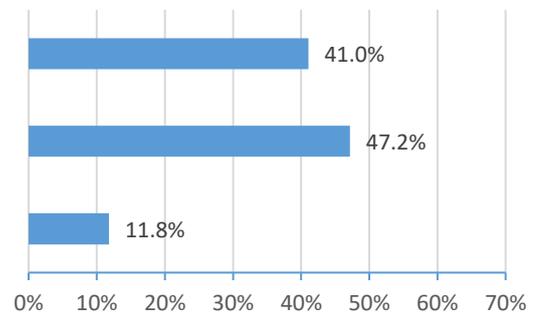
- ・個人や事業者等が特定できる部分については、特定できないように変更しております。
- ・誤字誤り等を修正しておりますが、それ以外は原文で載せております。
- ・記入内容が読み取れない部分については、「×」を代わりに記載しております。

◎ 集計結果

問1 この調査票にお答えいただける方はどなたですか

有効回答数229人のうち、「障がい者本人が回答」は94人(41.0%)、「家族・介助者が回答」は108人(47.2%)となっています。

調査票にお答えいただける方	人数
障がい者本人が回答	94
障がい者本人に聞か、本人の意向を考えながら家族や介助者が回答	108
無回答	27
有効回答者数	229

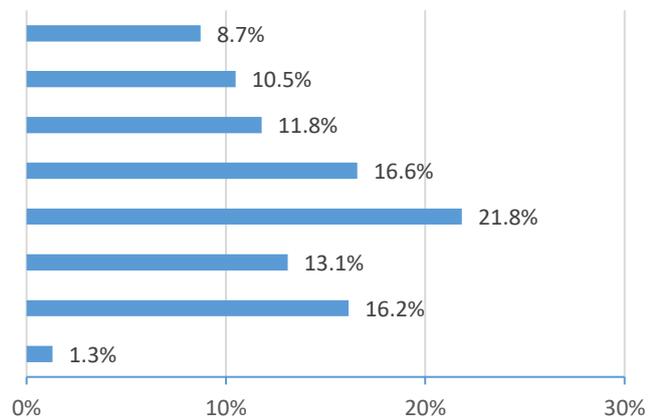


問2 あなたの年齢は次のうちどれですか

有効回答数229人のうち、50歳～59歳の方からの回答が50人(21.8%)と多くなっています。

障がい種類別にみると、【知的】は全年齢層にほぼ平均的に分布していますが、【精神】【身体】はいずれも40代以降が86%以上と多くなっています。

年齢	人数
0～17歳	20
18～29歳	24
30～39歳	27
40～49歳	38
50～59歳	50
60～64歳	30
65歳以上	37
無回答	3
有効回答者数	229

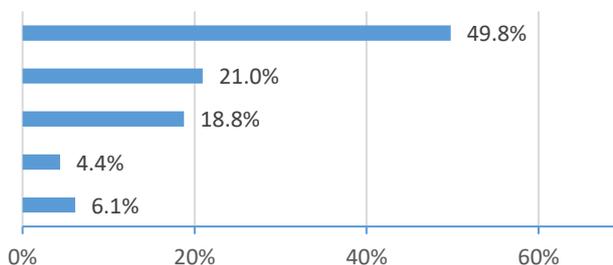


問3 あなたの現在のお住まいは次のうちどれですか

有効回答者数229人のうち、在宅と回答した方が114人(49.8%)と最も多くなっています。

障がい種類別にみると、グループホームまたは福祉施設と回答した方が【知的】は65人(54.6%)、在宅と答えた方が【精神】は27人(54.0%)、【身体】は48人(71.6%)と多くなっています。

住まい等	人数
在宅	114
グループホーム	48
福祉施設	43
病院（入院中）	10
その他	14
有効回答者数	229

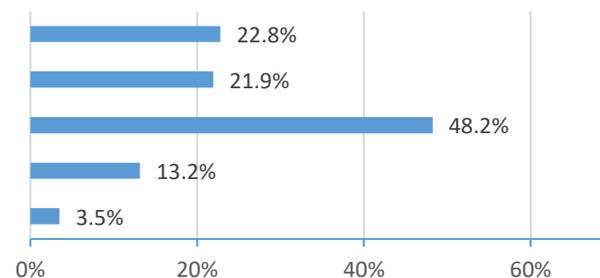


問4 あなたと同居している方は次のうちどなたですか(複数回答)

※問3で「在宅」を選んだ方のみ回答

問3で「在宅」と回答した114人のうち、親・祖父母・兄弟姉妹と回答した方が55人(48.2%)と最も多くなっています。

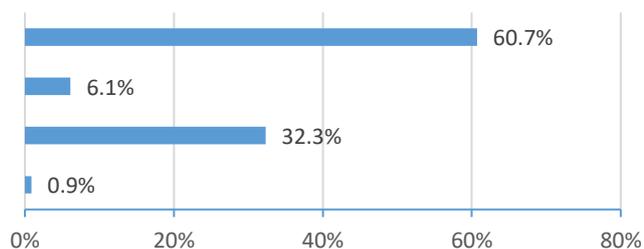
同居している方	人数
一人暮らし	26
夫または妻	25
親・祖父母・兄弟姉妹	55
子ども	15
その他	4
有効回答者数	114



問5 あなたがお住まいの地域は次のうちどれですか

有効回答者数229人のうち、八雲地域が139人(60.7%)と最も多くなっています。

お住まいの地域	人数
八雲地域	139
熊石地域	14
八雲町外	74
無回答	2
有効回答者数	229



問6 あなたが持っている手帳の種類と等級・判定は次のうちどれですか(複数回答)

有効回答者数229人のうち、療育手帳の所持者が119人(52.0%)(表6-1)と最も多くなっています。障がい種類別にみると、療育手帳はB判定が63人(52.9%)(表6-2)、精神障害者保健福祉手帳は2級が28人(56.0%)(表6-3)、身体障害者手帳は1級が16人(23.9%)(表6-4)とそれぞれ多くなっています。

表6-1

手帳種類	数
療育手帳	119
精神障害者保健福祉手帳	50
身体障害者手帳	67
無回答	7
有効回答者数	229

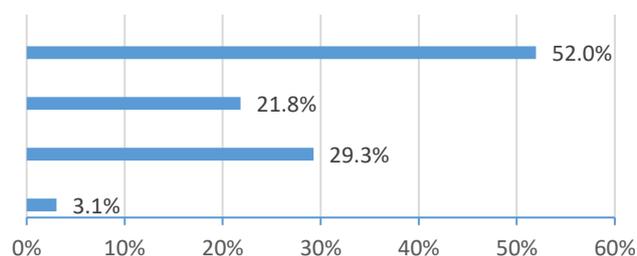


表6-2

療育手帳(判定)	人数
A判定	32
B判定	63
無回答	24
有効回答者数	119

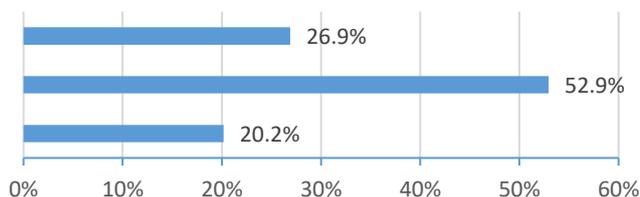


表6-3

精神障害者保健福祉手帳(等級)	人数
1級	6
2級	28
3級	6
無回答	10
有効回答者数	50

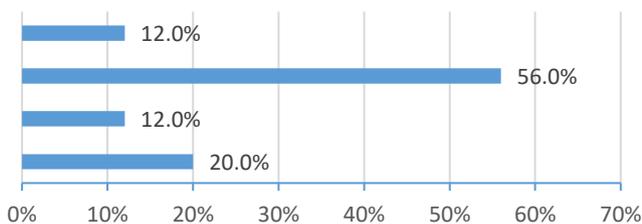
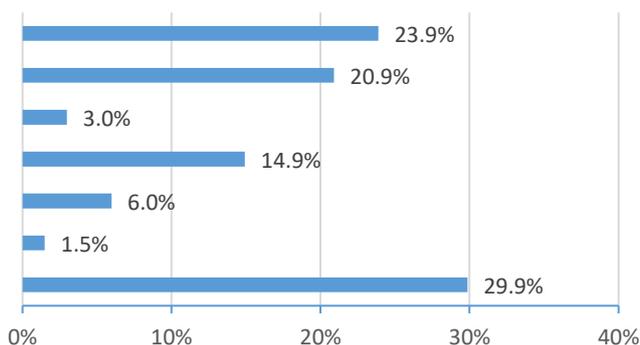


表6-4

身体障害者手帳(等級)	人数
1級	16
2級	14
3級	2
4級	10
5級	4
6級	1
無回答	20
有効回答者数	67



地域別に見ると、【知的】が八雲地域では61人(43.9%)(表6-5)、八雲町外(主にグループホーム及び入所施設を利用)では54人(73.0%)(表6-7)と多くなっています。

表6-5

八雲地域	人数
療育手帳	61
精神障害者保健福祉手帳	34
身体障害者手帳	49
無回答	4
有効回答者数	139

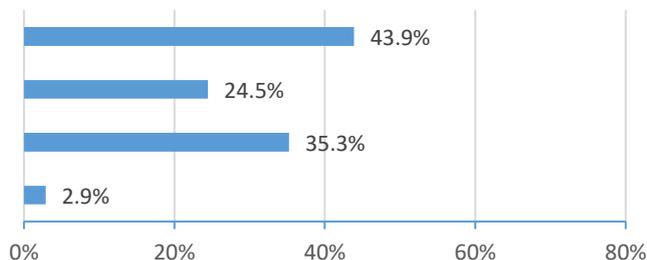


表6-6

熊石地域	人数
療育手帳	4
精神障害者保健福祉手帳	6
身体障害者手帳	6
無回答	0
有効回答者数	14

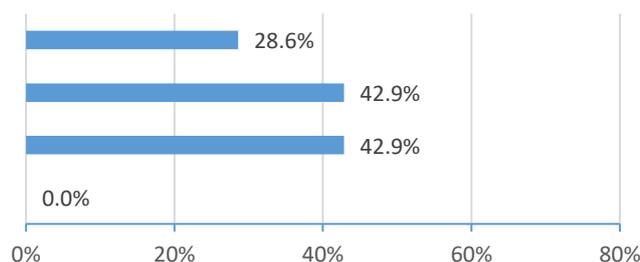
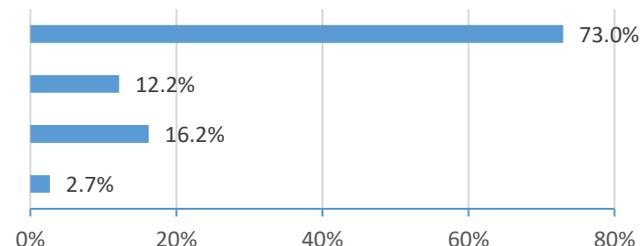


表6-7

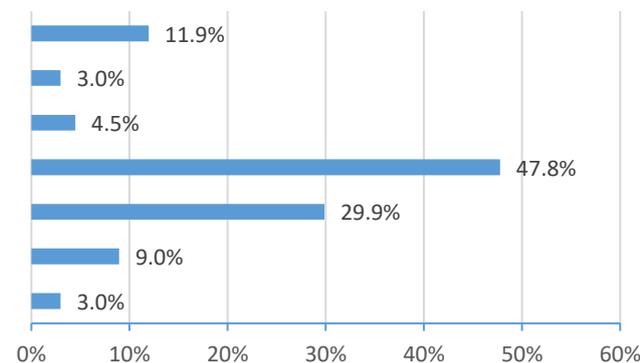
八雲以外	人数
療育手帳	54
精神障害者保健福祉手帳	9
身体障害者手帳	12
無回答	2
有効回答者数	74



問7 あなたがお持ちの身体障害者手帳に書かれている障がいは次のうちどれですか(複数回答)

【身体】の67人のうち、肢体不自由と回答した方が32人(47.8%)と最も多くなっています。

身体障害者手帳の障害内容	人数
視覚障害	8
聴覚機能障害	2
音声・言語・そしゃく機能障害	3
肢体不自由	32
内部障害	20
その他	6
無回答	2
有効回答者数	67



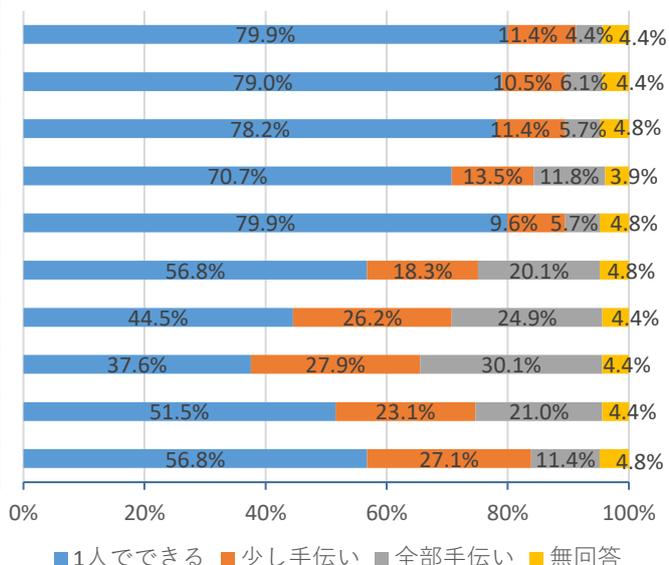
問8 あなたは、次の①から⑩までのことができますか

※補装具を使用している人は、補装具を使用した状態で回答

有効回答者数229人のうち、すべて一人で出来ると回答した方は54人(23.6%)となっています。食事やトイレ、着替えなどは、一人で出来る方が約80%と高くなっていますが、一方で掃除、洗濯、炊事ができる方は44.5%、お金の管理ができる方は37.6%となっています。

障がい種類別では、【知的】でお金の管理が一人でできると回答した方が26人(21.8%)と低くなっています。

	1人でできる	少し手伝って	全部手伝って	無回答
①食事	183	26	10	10
②トイレ(排泄)	181	24	14	10
③着替え	179	26	13	11
④お風呂に入る	162	31	27	9
⑤一人で歩く	183	22	13	11
⑥外出	130	42	46	11
⑦掃除、洗濯、炊事	102	60	57	10
⑧お金の管理	86	64	69	10
⑨服薬	118	53	48	10
⑩意思の伝達	130	62	26	11

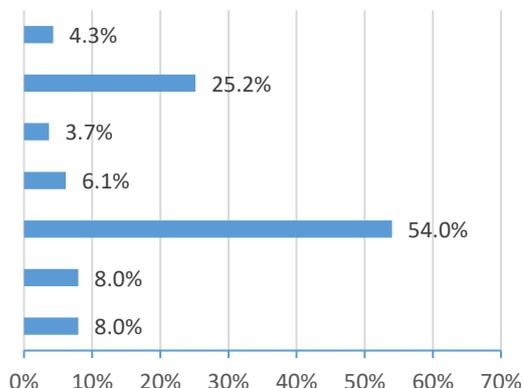


問9 あなたは身の回りの事を、どなたかに支援してもらっていますか(複数回答)

※問8で「少し手伝ってもらう」「全部手伝ってもらう」と答えた方のみ回答

問8で「少し手伝ってもらう」「全部手伝ってもらう」と答えた方163人中、福祉施設や医療機関の職員と回答した方が88人(54.0%)と最も多く、夫・妻・親・祖父母・兄弟姉妹・子どもと回答した在宅の方は複数回答を含め49人(43.0%)いました。

身の回りの支援者	人数
夫または妻	7
親・祖父母・兄弟姉妹	41
子ども	6
ホームヘルパー	10
福祉施設や医療機関の職員	88
その他	13
無回答	13
有効回答者数	163

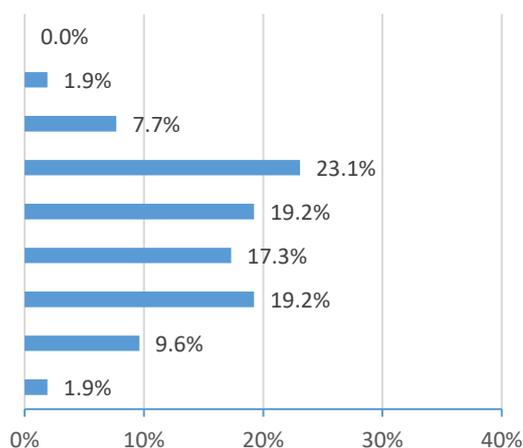


問10 あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢は次のうちどれですか

※問9で「夫または妻」「夫・祖父母・兄弟姉妹」「子ども」と答えた方のみ回答

有効回答者数52人中、40歳から74歳までの世代が41人(78.8%)と多くなっています。

身の回りの支援者の年齢	人数
0～17歳	0
18～29歳	1
30～39歳	4
40～49歳	12
50～59歳	10
60～64歳	9
65～74歳	10
75歳以上	5
無回答	1
有効回答者数	52

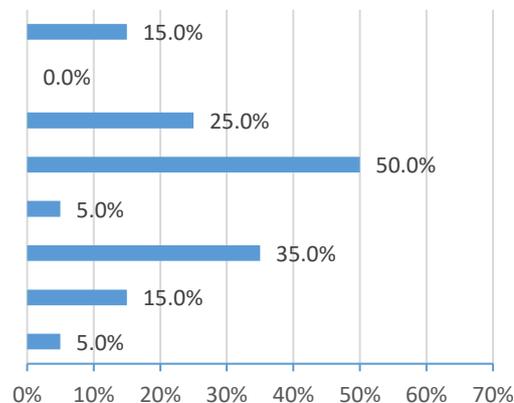


問11～問14まで「18歳未満」の方へ質問です

問11 あなたは日中、主にどこで過ごしていますか(複数回答)

有効回答者数20人中、小・中学校の特別支援学級と回答した方が10人(50.0%)、特別支援学校(高等養護学校等)と回答した方が5人(25.0%)いました。

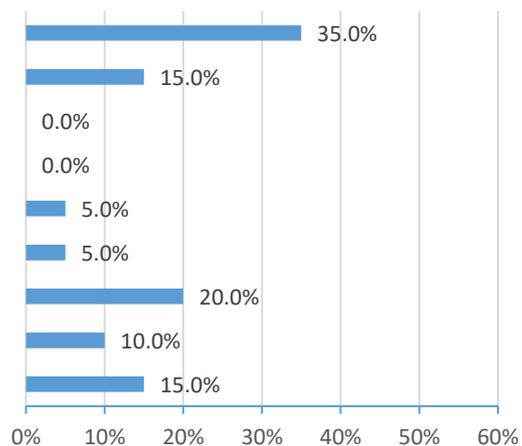
日中、主に過ごしている場所	人数
幼稚園・保育所・認定子ども園	3
小・中・高等学校の普通学級	0
特別支援学校（高等養護学校等）	5
小・中学校の特別支援学級	10
医療機関や福祉施設等に入院・入所	1
児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所	7
自宅で過ごしている	3
その他	1
有効回答者数	20



問12 学校や施設等で普段、悩んでいることなどありますか(複数回答)

有効回答者数20人のうち、通うのがたいへんと回答した方が7人(35%)いました。

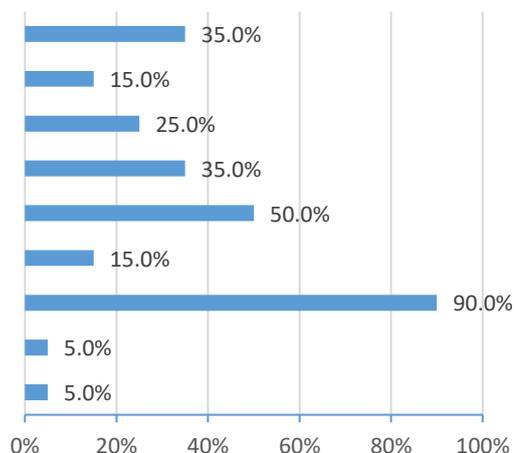
学校や施設等で悩んでいること	人数
通うのがたいへん	7
授業内容がむずかしい	3
トイレ等の設備が不自由	0
介助体制が十分でない	0
友達ができない	1
職員や生徒の理解や配慮が足りない	1
希望どおりの就園、就学が難しい	4
その他	2
無回答	3
有効回答者数	20



問13 保護者の方へお聞きします。お子さんのことで不安に感じていることは何ですか(複数回答)

有効回答者数20人のうち、将来が不安と回答した方が18人(90.0%)と多い結果になっています。

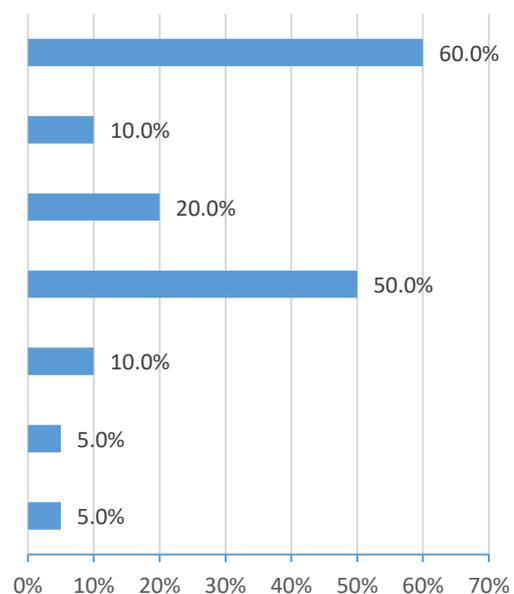
お子さんのことで不安に感じていること	人数
ことばの発達に関する不安	7
運動発達に関する不安	3
多動や落ち着きに関する不安	5
こだわりなど行動に関する不安	7
コミュニケーションに関する不安	10
診断に関する不安	3
将来に対する不安	18
その他	1
無回答	1
有効回答者数	20



**問14 保護者の方へお聞きします。発達に関する不安や障がいのあるお子さんが適切に支援を受け
るために必要なことは何だと思えますか(2つまで回答)**

有効回答者数20人のうち、より専門的な機関による相談体制と回答した方が12人(60.0%)、関連するサービスについての情報提供の充実と回答した方は10人(50.0%)となっています。

発達に関する不安や障がいのあるお子さんが適切に支援を受けるために必要なこと	人数
より専門的な機関による相談体制	12
SNSなどによる相談体制	2
自宅に訪問し、情報提供や助言などを行う支援	4
関連するサービスについての情報提供の充実	10
保育所・幼稚園などを訪問し、集団生活適応などのための支援	2
その他	1
特になし	1
有効回答者数	20

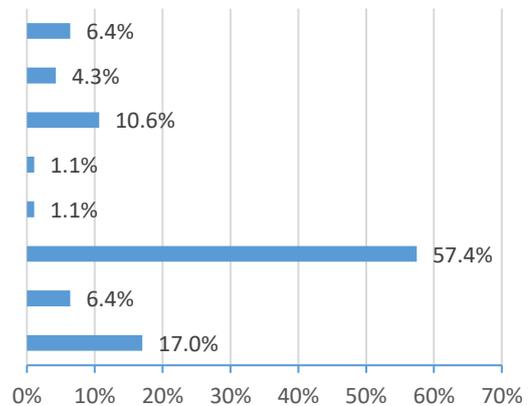


問15～問17まで「18歳以上」かつ「在宅」の方へ質問です

問15 あなたは、現在障がい福祉サービス等を利用していますか(複数回答)

有効回答者数94人のうち、利用していないと回答した方が54人(57.4%)となっています。

障がい福祉サービス等の利用状況	人数
ヘルパーによる居宅介護	6
ヘルパーによる移動支援	4
就労継続支援B型・就労移行支援	10
短期入所	1
日中一時支援	1
利用していない	54
わからない・その他	6
無回答	16
有効回答者数	94

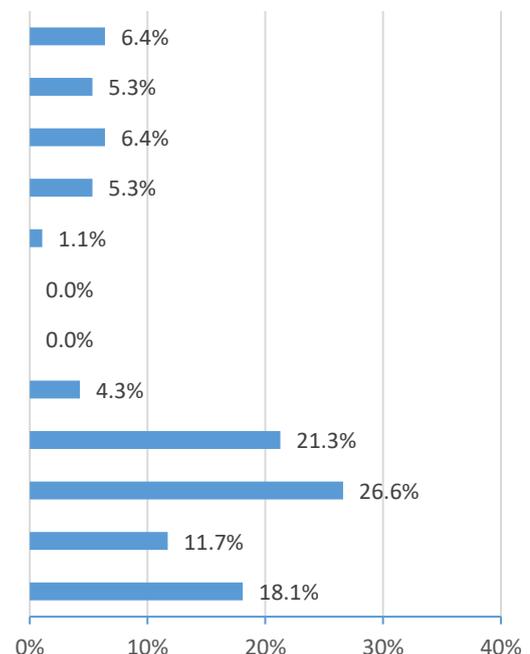


問16 あなたは、今利用していないもので、今後利用したいと思う障がい福祉サービス等がありますか(2つまで回答)

有効回答者数94人のうち、利用したいサービスはないと回答した方が25人(26.6%)いました。

問15で現在サービスを利用していないと回答した54人のうち、今後利用したい具体的なサービスがある(複数回答含む)、利用したいが決まっていない・わからないと回答した方がそれぞれ14人(25.9%) いました。

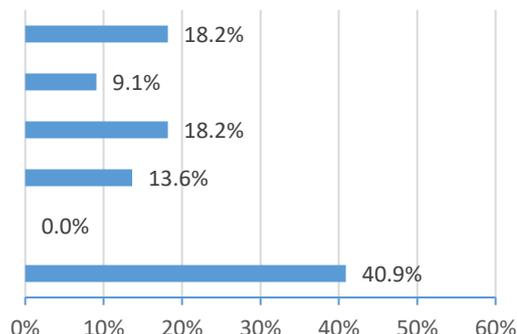
今後利用したいと思う障がい福祉サービス等	人数	
利用したい	グループホーム等	6
	ヘルパーによる居宅介護	5
	ヘルパーによる移動支援	6
	就労継続支援A型・B型・就労	5
	短期入所	1
	日中一時支援	0
	緊急時に泊まりで預かってくれるサービス	0
	将来のために仕事や住まいの体験の場の提供	4
	決まっていない・わからない	20
利用したいサービスはない	25	
わからない	11	
無回答	17	
有効回答者数	94	



問17 あなたは、今利用していないもので、今後利用したいと思う障がい福祉サービス等はありませんか(2つまで回答)

有効回答者数22人のうち、すぐにでも利用したいと回答した方が4人(18.1%)いました。

いつ頃からサービスを利用したいか	人数
すぐにでも利用したい	4
3年以内に利用したい	2
必要になったら利用したい	4
決めていない・わからない	3
その他	0
無回答	9
有効回答者数	22

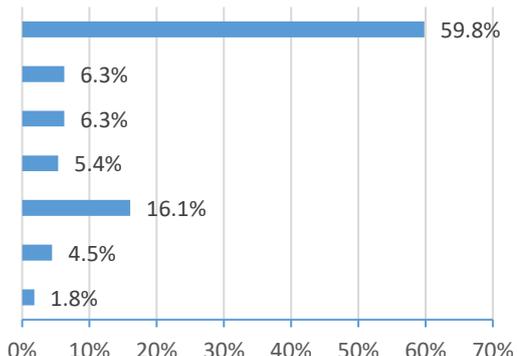


問18～問19まで「18歳以上」かつ「在宅以外(施設等)」の方へ質問です

問18 あなたは、今後どのような生活をしたいと思いますか

有効回答者数112人のうち、今のこのままで生活したいと回答した方が67人(59.8%)いました。

今後どのような生活をしたいか	人数
今のままここで生活したい	67
家族と一緒に生活したい	7
一般の住宅でひとり暮らしをしたい	7
グループホームや施設などを利用したい	6
わからない・その他	18
無回答	5
無効	2
有効回答者数	112

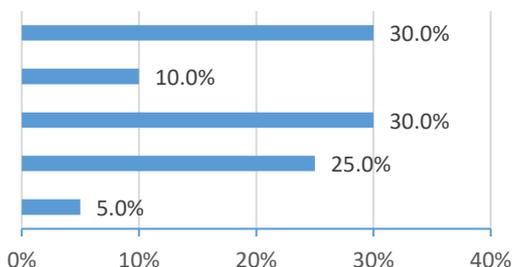


問19 いつ頃からサービスを利用したいと思いますか

※問18で「家族と一緒に生活したい」「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」「グループホームや施設などを利用したい」と回答した方のみ回答

有効回答者数20人のうち、すぐにでも利用したいと回答した方が6人(30.0%)いました。

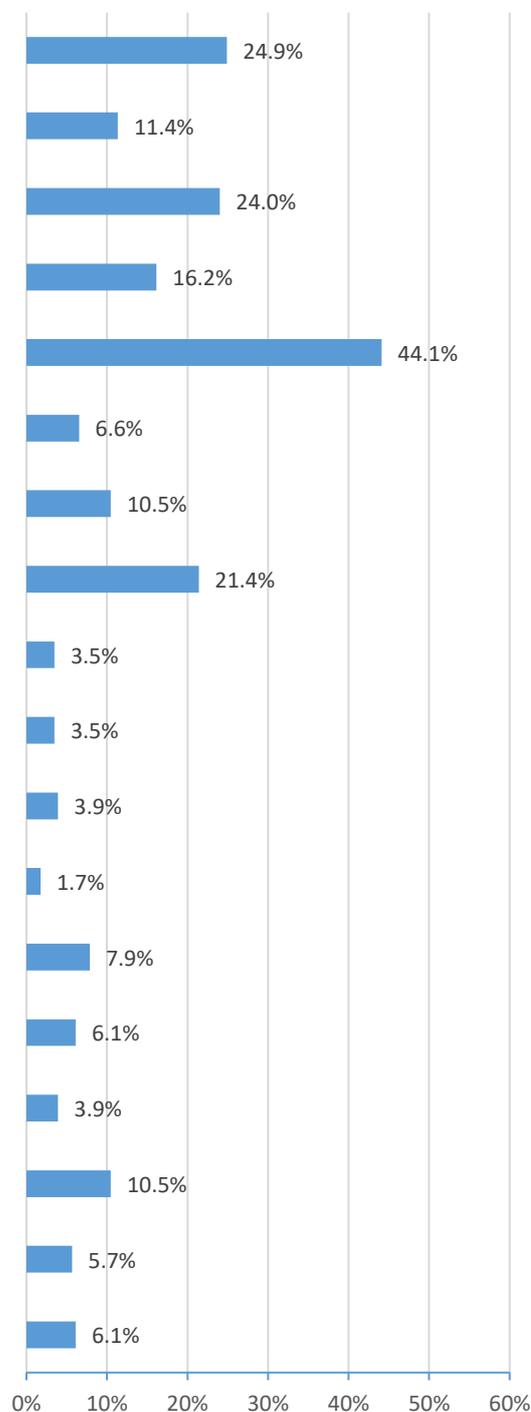
いつ頃からサービスを利用したいか	人数
すぐにでも利用したい	6
3年以内に利用したい	2
必要になったら利用したい	6
決めていない・わからない	5
その他	1
有効回答者数	20



問20 障がい者に対する支援として、行政（国、道、町）はどのようなことを充実すべきだと思いますか(3つまで回答)

有効回答者数229人のうち、年金や手当等の充実と回答した方が101人(44.1%)と多く、障がい種類別に見ても、【知的】が37人(31.1%)、【精神】が27人(54.0%)、【身体】が41人(61.2%)とそれぞれ多くなっています。

行政（国、道、町）に望むこと	人数
障がいに対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実	57
療育・保育・教育の充実	26
就労支援の充実	55
雇用・就業の促進	37
年金や手当等の充実	101
機能回復訓練等リハビリテーションの充実	15
在宅生活を支えるための保健・医療の充実	24
通院・治療のための医療費の助成	49
ホームヘルプや外出支援等の在宅サービスの充実	8
ボランティアの育成	8
情報提供や相談窓口の充実	9
地域の人等と交流ができる場の整備	4
緊急時や災害時の支援体制の充実	18
バリアフリーの推進	14
その他	9
特になし	24
無回答	13
無効	14
有効回答者数	229

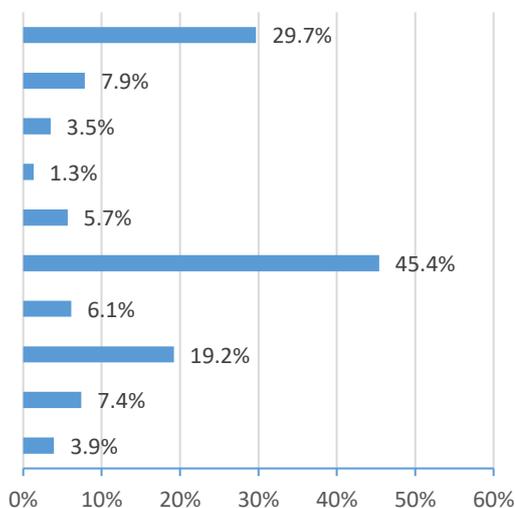


問21 地震等の自然災害で避難が必要になった場合、あなたの避難を手助けしてくれる人はいますか (複数回答)

有効回答者数229人のうち、施設職員と回答した方が104人(45.4%)と多くなっています。

障がい種類別にみると、施設職員と回答した方が【知的】は73人(61.3%)、【精神】は20人(40.0%)、【身体】は自分で避難できると回答した方が24人(35.8%)と多くなっています。

避難時に手助けをしてくれる人	人数
同居の家族	68
別居の家族	18
町内会	8
民生委員	3
近所の知人	13
施設職員	104
手助けしてくれる人がいない	14
自分で避難できる	44
その他	17
無回答	9
有効回答者数	229

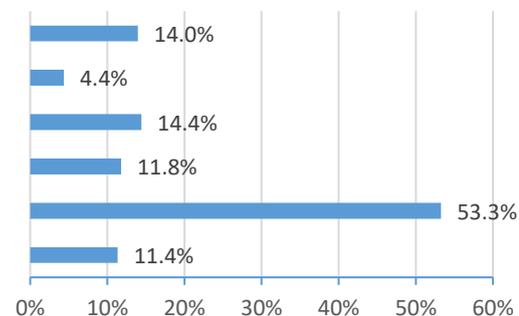


問22 避難する時に困ることは何ですか(複数回答)

有効回答者数229人のうち、特に困ることはないと回答した方が122人(53.3%)いました。

障がい種類別では、避難所がわからないと回答した方が【知的】は14人(11.8%)、【精神】は11人(22.0%)、【身体】は避難所までいけないと回答した方が15人(22.4%)と多くなっています。

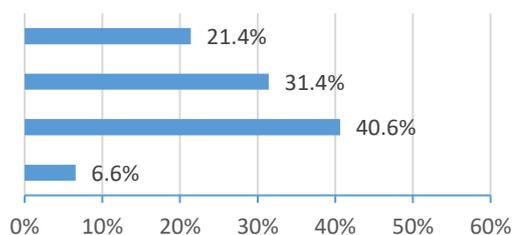
避難する時に困ること	人数
避難場所まで行けない	32
避難を手助けしてくれる人がいない	10
災害時の避難場所が分からない	33
その他	27
特に困ることはない	122
無回答	26
有効回答者数	229



問23 あなたは、これまでに差別をされたと感じたことはありますか

有効回答者数229人のうち、あると回答した方が49人(21.4%)いました。

差別をされたと感じたことはあるか	人数
ある	49
ない	72
分からない	93
無回答	15
有効回答者数	229



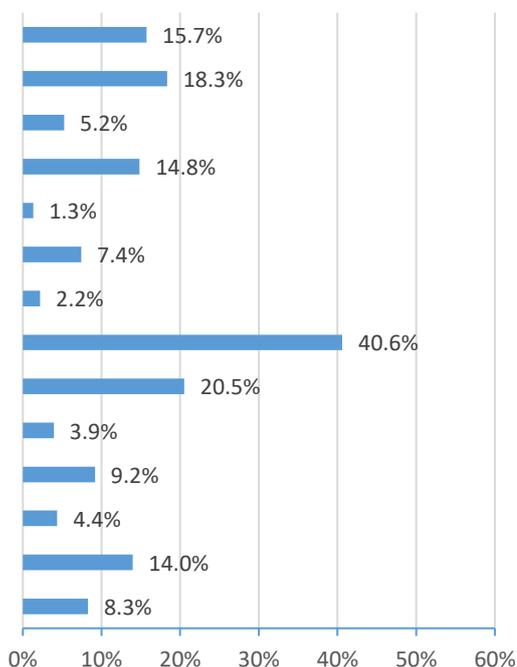
問24 あなたが受けた差別を具体例があれば、ご記入ください (主な意見)

年齢階層	区分	記述内容
18～29歳	知的	覚える事が時間がかかるので仲間外れにされた。
50～59歳	精神	バカにされたような気がする。
50～59歳	身体	障害者である事で白い目で見られたり見下されたりした。
0～17歳	知的	いろんなことに無視されること！自分から話をしないと友達とは話をかけてくれないこと。仲間外れにされること。
0～17歳	知的	・○○って変だよねと顔を見て言われたことがある。 ・多動がある事で椅子に黙って座って入れずにジロジロ見られる。
18～29歳	知的	イヤな事や悪口を言われて悲しかった。
30～39歳	精神	「これだから障害者は」という言葉を言われた。
30～39歳	身体	人間関係。誤解されるなど。
40～49歳	身体	左半身が悪くて普通の人と同じ作業などが出来なくて馬鹿にされる事がしばしば小学の時からあった。
0～17歳	知的	周りの人たちの目線や態度が障害があると公表された時点で変わってしまった。距離を置かれるようになった。
50～59歳	精神	障害があるからあまり付き合いは遠慮するように言われた。
0～17歳	知的	特別支援級にいた時、普通学級の同学年に差別的な発言を受けた。
50～59歳	身体	歩き方が変だと言われたことがある。(10年前に)

問25 悩みや困った時の相談先はどこですか(複数回答)

有効回答者数229人のうち、施設・サービス事業所が93人(40.6%)ですが、一方で相談先がわからないという方も21人(9.3%)いました。

悩みや困った時の相談先	人数
役場・支所	36
シルバープラザ	42
子ども発達支援センター	12
相談支援事業所	34
八雲保健所	3
障害者相談員	17
民生委員・児童委員	5
施設・サービス事業所	93
病院	47
学校	9
相談先が分からない	21
悩みや困ったことが無い	10
その他	32
無回答	19
有効回答者数	229



問26 最後に、障害福祉に関わらず、あなたが普段感じていることや考えていること、困っていることなどがありましたら、何でもご自由にご記入ください (主な意見)

年齢階層	区分	記述内容
40～49歳	知的	人は自分の家族に障害の方がいないと全く違う生活をし心も体も傷つくことなく生活している。いない人達には分からないと思う。うらやましいです。けど3歳の時、知的障害と言われ療育手帳をいただきました。言葉がなかなか言えませんでした。でも今は何とか職場の皆さんに支えてもらい、毎日仕事してます。この先、親が二人ともいなくなった時に一人で生きてゆけるのか心配です。
60～64歳	精神	今現在充実しています。不安はありません。
50～59歳	精神	買い物に行けない。思ったよりお金がもらえない。雨が降ったら、雪が降ったら歩くのが大変。
18～29歳	知的	何かを伝えたくても言葉遣いが違ってうまく伝わらなかつたり過去に同じ事で注意されて、言っても絶対に思っていないだと返されるのではないかと不安になってしまい、言う事が出来ない。言っても分かってもらえないと先に思ってしまう、何も言えずにそのままため込んでしまう。

年齢階層	区分	記述内容
30～39歳	精神	障害を持っている方でも自分の得意な事で地域の皆さんと交流したいと思っています。ですが、交流する場所が少ないのも現状だと思います。地域の方との交流会などをするのは難しいのでしょうか。
50～59歳	身体	みんなと仲良くする社会をつくりたい。
0～17歳	知的	障害児がもっと周りに気をつかわず体を動かせる施設があればいいと思います。(時間を分けて利用できる場所があればいいと思う)
40～49歳	知的	通院や買い物の件で職員へ直接相談したりサービス事業に相談をした時、他あたって下さいなど対応に不十分を感じる。
40～49歳	身体	等級が低いと何も援助がない。少なすぎる。
60～64歳	身体	生活支援して欲しいです。
30～39歳	知的	今以上に障害者年金等を減額しないでほしい。親が年老いても子どもが安心して暮らせる環境を整えて下さい。
40～49歳	身体	病気に対しての理解が乏しい。
0～17歳	知的	高校卒業後の進路が一番心配な要因です。何年も待たなければ入所できないとかではなく、重度な障害を持った人達が安心安全に生活・仕事ができる場をこの人たちが将来困らないようどんどん増やしてほしいと願っています。
50～59歳	精神	30年近く入院生活を送ってる。心身共に外の社会生活をするには色んなハードルがある。それでもやはり退院したいとは思ってる。老後も不安。
0～17歳	身体	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗前の車いすマーク駐車場へ何かしらのハンデのある方優先駐車場へ明らかに何も関係ないと思われる人々が平気で停めている。八雲にはそういう人が大勢いる！！ ・高齢者の割合が高いが未来ある子どもたちの支援へ目を向けて福祉だけに限らず教育設備等整えてほしい。 ・中学・高校とこのまま進学できる環境が整っていないため取り残されてしまう不安がある。
0～17歳	知的	義務教育後、将来の選択肢がどのようなものがあるか、わからない。また、どうやって調べればいいのか、何をすればいいのかわからない。本人の自立を願うが、家族に何ができるかも分からない。不安がいっぱい。(母が)
0～17歳	身体	現在小学4年生ですか、進学先について八雲中学校の支援級と特別支援学校とで悩んでいます。来年あたりから情報収集をしようと考えていますが、どちらの選択が息子にとって良いのか…学校の情報だけでなく実際に通学してる方の話など具体的なことも知ることができればと思います。
50～59歳	身体	身体障害者である本人が意思疎通ができないため、本人の意見を伝えることが出来ませんが、家族として、一刻も早く医療が発達して、なんとか良くなって欲しいと願うばかりです。